

西小は おおきな 家族
Family
～校長のたわいもない独り言～

平成 30 年 4 月 9 日 (月) No.2
発行人

昨日は桃源郷マラソン出ちゃいました。辛かった～の川崎先生。

◇第 144 回入学式◇

平成 30 年度、13 人の新 1 年生を迎えて、合計 110 名の楡形西小学校がスタートしました。この日に行われた入学式は第 144 回。こんなに長い歴史がある事を知らなかったことは校長として失格ですが、このような歴史と伝統がある学校であることを、心から誇らしく思います。

新 1 年生は 13 人。3 年生に手を引かれて入場してくる姿がかわいいのなんの。そしてまだまだ小さくてイスに座っても足がぶらぶら。その姿もかわいいのなんの。思わずほほが緩みます。入学式の約 50 分の間、一生懸命我慢して良い子に座っていました。私の式辞を含め、たくさんのお話がありましたが、多分ほとんどは ～%&!&~¥~?。でも、1 年生はそんなものです。逆にすべて覚えていたらこちらが戸惑っちゃいます。これから少しずつ、そして一歩ずつ、いろんなことを覚えながら成長していくことでしょう。その過程を見られることがまた楽しいのです。

◇西小学校はあいさつがすばらしい学校です◇

と、先生方や地域の方が口々におっしゃいました。入学式のお祝いの言葉の中で上田県議様も話されました。もちろん大変うれしい事なのですが、実際にその場面に出会うと、うれしいを通り越して、本当に癒されます。毎日何度も癒されます。

例えば.....

- 入学式が終わり職員室に戻る途中、廊下で「カギ！カギ！」と言いながら追い越して行った男子。はっと気づいて立ち止り、振り返って「こんにちは」とあいさつ。
- 職員室西側のドアから「〇年の◇〇口です。バトミントンのラケットを貸してください」とていねいに用件を言える低学年の女の子。“玄関で渡すから行ってごらん”という、「はい、ありがとうございます」と、これまたペコリと頭を下げきちんとお礼。
- 「〇年の◇口〇です。サッカーボールを返しに来ました。ありがとうございました」「口年の〇◎◇です。～先生に用事があってきました」。
- 朝の校門に立っていると、遠くから「おはようございまーす」の声、声、声、.....

これが西小学校の日常なのです。毎日こうなのです。たまりません。特に私のような年配者には。きっとあいさつをもらったことのある地域のおじいちゃん、おばあちゃんもたまらないでしょう。

◇そう言えば「Family」の意味を話していませんでした◇

西小学校は、全校生徒 110 名のとっても小さい学校です（南アルプスでは芦安小について 2 番目です）。だから子どもたちと先生方の距離が近くて、全部の先生が全部の子どもに関わることが出来ます。この関係性が家族のようなのです。楡形西小学校は、そんな家族のような学校を目指します。その思いを込めて「Family」と名付けました。